



エコネット通信

VOL.33



オニヤンマの脱皮。

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

遠野の森の魅力を伝えるイベント

森フェス2023 in 遠野盛大に開催！

トトロひろばは大人気

晴天に恵まれた7月29日(土)～30日(日)

の2日間、当会が手入れをしている松崎町内の森にて、昨年に引き続き森フェスを開催し、約200名の市民が森を訪れました。

森フェス会場には、ブランコやターザンロープ、シーソーやハンモックを吊り下げて子ども達が遊べる「トトロひろば」。

ジュースやかき氷、コーヒーやビールなどの飲み物、お弁当やピザ、韓国料理という食事、そして野菜やおもちゃなどの物産を売るテントが軒を連ねる「森のマルシェ」。

そして「森の体験コーナー」では、森の自然



森フェス会場中央にあるメインひろばのステージでは、子ども達の合唱やバレエなども披露されました。

を楽しむネイチャーゲームやツリークライミングの体験と、木のカタリリーづくりやツル細工、リースづくり、飾り炭づくり、アブ対策になるというオニヤンマのバツジづくり、森の木々にモンスタールをつくる森のモンスタールづくり、そして影絵のパペットと物語をつくるワークショップが行われました。

メインひろばでは歌・踊り・お話が

森の中央にある「メインひろば」には間伐材で組み立てたステージがあり、29日は地元「葉研太鼓親の会」による太鼓演奏でスタート。森中に太鼓の音が響き渡りました。

その後は、「遠野少年少女合唱隊」の小学生による歌。「ちびっこクラブちゅんちゅん」さんの飛び入りの子どもも交えた人形劇。奈良県から参加してくれた「hoshifune (ほしふね)」によるバリ仮面舞踊とバリ伝統芸能のお話。長野県伊那市から来ていたいた(株)やまと取締役である奥田悠史さんの「森をつくる 暮らしをつくる」と題した森のお話。そして、この日最後には、「まったくずるループアプカシポポ」さんのアイヌ神話が順に披露されました。

30日のメインひろばでは、「Mariko Yoga」さんによる森ヨガでスタート。

その後は、「遠野市民バレエスタジオ」の小学生によるバレエ。遠野市内で音楽活動をし

ている「美鈴&フレンズ」さんのジャズ。「A・E・L音工房合唱部」さんの歌。京都から来ていただいた森の案内人である三浦豊さんの「森との再会」と題した森のお話。そして最後に、当会代表がリーダーを務めるテクノボーブラザーズのライブと盛りだくさんの内容で、森中に拍手や歓声が響き渡りました。

夜のひろばでは影絵公演も

今年初日である29日の夜に「夜のひろば」も開催しました。暗闇が迫る夜7時から「hoshifune (ほしふね)」さんと日中のワークショップで影絵を作った参加者による「遠野の森」と題した影絵の公演。スクリーンだけでなく、森の木々の葉全体に影絵が映されて、言葉にならない美しさがありました。その後は、日中にお話しいただいた奥田さんを囲んでの焚き火の語り場。そして、子ども達は、日中に「遠野美術クラブ」さんのワークショップで森中にできた森のモンスタールを探して歩く「森のモンスタール巡り」を楽しみました。



夜のひろばでは、日中のワークショップで製作した影絵のパペットで物語が生まれました。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」 6/17(土) 7/8(土)

6月の参加者は小学生が16名、幼児親子は19名。午前の活動は森探検。小学生はオッホーの森へ山を登って行き、帰りには川遊びをしました。幼児組は、オッホーの森の周りを探検。湿地ではバイケイソウの白い花が満開となっていました。昼食後は、4月に種まきした稲の苗で田植えをしました。田植えの後は泥遊び大会。みんな思いっきり泥だらけになったため、ドラム缶風呂に入って泥を洗い流しました。

7月の参加者は小学生12名、幼児親子は11名。小学生達は午前中にオッホーの森の近くを流れる滝川へ移動し、川を歩いて登るシャワークライミング体験。ウエットスーツにライフジャケット、そして頭にはヘルメットをかぶり準備を整えてスタート。流れる水を浴びながらの岩登りは、迫力満点。途中では、岩から飛び降りたりしながら、思いっきり遊びました。また、午後は6月に田植えした田んぼでの草取り作業も行いました。幼児組は午前中にオッホーの森へ森探検。沢で遊んだりしてずぶ濡れになる子どももありました。午後は畑で、エンドウ豆の収穫をしたり、ドラム缶風呂を焚いたりしました。この日のおやつには、採れたてのエンドウ豆を茹でて、みんなで美味しくいただきました。



6月のデイキャンプでは、田植えを行いました。



7月のデイキャンプでは、シャワークライミングに挑戦！

つちのこ保育園視察 6/21(水)

岩手県内で認可を取得している数少ない「森のようちえん」である、普代村の「つちのこ保育園」。当会でどんぐりのぼうしスタッフをしている7名で視察研修に行ってきました。この日は、園舎の周りの森での活動日。「はじめのまんまる」という朝の会の後に、森のステージで森のようちえんの歌を子ども達が元気に歌ってスタート。その後の自由遊びでは、子ども達が森の中に生えているグミの実を採ってくれたり、自分のお気に入りの場所に連れて行ってくれたり、私たちも一緒に森の時間を楽しみました。自由遊びの時間が終わると、この日は野外料理をしてお昼に。石を並べてカマドをつくり、羽釜でご飯を炊いて。小さな子達もナイフを手にニンジンやキャベツなどの野菜を切ってお味噌汁をつくりました。調理担当スタッフがつくった野菜料理と共に、私たちも一緒にごちそうになりました。帰りには、園舎の中や、近くにある農園も見学させていただきました。



つちのこ保育園の森の秘密基地で遊ぶ子ども達。



奥畑氏にイネ科とカヤツリグサ科植物の特徴を学びました。

森楽倶楽部 7/1(土)

今年度2回目となる7月は、夏の森を楽しむがテーマ。前回同様に、宮古市川井から奥畑充幸氏を講師に迎えて、7名の参加者と薪の駅周辺の森を歩きました。オニノヤガラという光合成をしない不思議な植物を見つけたり、オニヤンマが脱皮したばかりの様子を観察できたり。また、道ばたに生えている草から、イネ科の植物とカヤツリグサ科の植物の見分け方などを教えて頂きました。

間伐倶楽部 6/24(土) 7/22(土)

6月の間伐倶楽部は6名、7月は5名が参加し、薪の駅近くの実習林で間伐・造材・集材の作業を行いました。山仕事講座の修了生が中心となって活動していますが、まだ参加していない方でも、受講中の方でも遠慮なくご参加下さい。その人のレベルに合わせて、マンツーマンで山仕事について実習できます。



間伐倶楽部は、マンツーマンで山仕事を学べますよ。

活動報告（6月～7月）

水源の森づくりプロジェクト 7/4(火)

土淵小学校4年生13名とともに今年度2回目の活動。この日は、琴畑高原にて5月に植えたミズナラの苗木を確認し、成長具合を計測。また、草刈り鎌で、苗木周辺のササなどの草刈りもしました。その後は、遠野市の上水道施設となっている「たかむろ水光園」に移動。職員から、琴畑川から流れた水が、どのように浄化されて市民の水道へ至るかを、濾過池などを案内していただきながら学びました。これから蛇口をひねる時に、ちょっとでも自分たちが植えた木々に思いを巡らせてくれたらなあと感じました。



苗木の計測と草刈りを終え、土淵小学校4年生と記念写真。

山仕事ははじめの一步(入門)講座 6/11(日) 7/9(日)

今年度2回目となる6月の講座には13名が受講。先月に立ち木の混み具合を調査した杉林にて、本格的な間伐実習となりました。中には、生まれて初めてチェーンソーで立ち木を伐り倒した参加者もあり、かなり緊張した様子でしたが、スタッフの指導のもと無事に間伐できていました。7月の講座にも13名が受講。この日は、間伐作業で必要となる「かかり木」の処理について実習しました。「かかり木」処理の方法を誤ると、事故のリスクが高まるので、安全に木を外す方法を、しっかりと学びました。



7月の山仕事講座では、かかり木処理について実習しました。

炭っこ倶楽部 6/22(木)

今年度最初の炭焼き体験会を、北上市の炭代表である千田淳氏を講師に迎え、普代村の地域おこし協力隊員等9名で行いました。炭窯の焚き口を開けて、焼けた炭を取り出し、長さを切りそろえて袋に梱包。午後には、用意していた炭材を炭窯の中に立て込む作業をしました。また、この日の午後には、遠野市内の介護福祉施設の入所者10名と職員5名も見学を訪れ、昔やったことのあるお爺ちゃんやお婆ちゃんが、炭窯の中に入り、懐かしみながら作業を手伝ってくれました。中には、元気に斧を振って薪割りをするお婆ちゃんや、ノコギリで丸太を切るお爺ちゃんも現れたり。そんな姿を見ると、炭焼きがこの地域の貴重な文化遺産になっていると再認識させられました。



炭っこ倶楽部を見学に来た入所者に炭焼きを説明する千田氏。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト

6/4(日) 7/2(日)

6月の薪づくりは12名が参加し薪づくりを行いました。また、7月の薪づくりは、かなり暑い天候となりましたが、18名が参加。暑いので、薪の長さに玉切りした丸太を木陰に運搬しての薪割り。夏の薪割りは、なかなかの重労働ではありますが、頑張った分だけ暖かな冬を迎えられると思い、みんな頑張っています。



7月の薪づくりは木陰に移動しての薪割りを。

森業倶楽部 6/25(日) 7/23(日)

6月の森業倶楽部は、貞任高原の森でツル細工の材料となるヤマブドウを採集。宮守町鱒沢地区の佐藤秀夫氏に指導いただきながら、ツルの皮を剥ぐ作業をしました。10月に採集したツルでカゴ編みをする予定です。この日の午後は薪の駅に移動して、ツル細工体験。オニグルミの樹皮でブローチづくりをしました。7月は間伐材の木工作品づくり。最初に講師の菊池光典氏から、工具の使い方を学び、また、鉋やノミの刃の研ぎ方を実習。その後、木工作業を始めました。



貞任高原で巨大なヤマブドウのツル皮を剥く講師と参加者。



主な活動の予定（8月～9月）

月日	タイトル	内容	活動場所
8/5(土)	シャワークライミング体験会	シャワークライミング他	森のがっこう
8/5(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
8/6(日)	薪づくり倶楽部	薪づくり他	薪の駅
8/8(土)~11(日)	夏のエコキャンプ2023	キャンプ、野外炊事他	張山環境保全林他
8/12(土)	moritoモニターツアー事前説明会	お山かけの内容紹介他	オンライン
8/19(土)	ウタリのお茶会	森のがっこうでの語り合い	森のがっこう
8/20(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	刈り払い・間伐の実習他	松崎実習林他
8/26(土)~27(日)	moritoモニターツアー・夏編	早池峰山へのお山かけ再現	集合・早池峰交流館
8/26(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
8/27(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
9/2(土)	森楽倶楽部	秋の森の自然観察	松崎実習林
9/3(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
9/9(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森探検、畑作業他	オッホーの森他
9/10(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	間伐、滑車の使い方実習	松崎実習林他
9/23(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
9/24(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
9/24(土)	ツル細工体験会	ツルのトレーづくり体験	森のがっこう

【編集後記】

暑い夏が続いています。皆様はこの暑さ対策をいかにしているのでしょうか？暑さもしのげて、しかも冒険心を満ち、適度な運動で体力維持にも貢献できる方法があります。それが、シャワークライミング！

森のがっこうに隣接している滝川は、薬師岳から流れ下る清流で、その透明度はピカーです。川を登って行くと、変化に富んだ岩と水の流れ、それを取り囲む緑の木々。何度も大きなイワナが泳ぐ姿を間近で見れます。暑

さも忘れられるお勧め体験をしに、森のがっこうにいらしてくださいませ。(千葉)



発行：NPO法人遠野エコネット
令和5年8月7日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail: pahaya@tonotv.com



オッホーの森の家建設予定地にての地鎮祭。大出早池峰神楽の舞を奉納していただきました。

日本財団の助成を受け開始している「森のがっこう」の活動の様子です。
4月～5月までの準備期間を経て、6月3日にはプレオープン行事を行い、以後、週4日体制でスタッフが常駐し、オッホーの森歩きや田植え体験などのイベント

遠野・森のがっこう便り その2

トを毎月行っています。

また、「オッホーの森の家」についても、工事業者が決まり、7月7日(金)には関係者を集めての地鎮祭が執り行われました。地鎮祭には、地元の遠野郷早池峰神社の宮司さんに来ていただいて神事を行い、また、地元の大出早池峰神楽保存会による舞を奉納していただきました。

その後、森の家については、土地の造成工事が着々と進んでおり、地盤調査も終了して、建物の基礎工事が始まります。この他、森の家までの道路についても、デコボコをならし、砕石を入れてもらいました。また、森の家の下には駐車スペースも新たに作っていただきました。

完成までは工事車両が出入りすることもあります。どうぞ森のがっこうに遊びに入らして下さいませ。